

図書館員が選ぶ この一冊

31

『ファーストラヴ』島本理生/著 文藝春秋

臨床心理士の真壁由紀は、美人女子大生が父親を刺殺したとされる事件についてノンフィクションの執筆を依頼される。容疑者聖山環奈の「動機はそちらで見つけてください」という挑発的なせりふが取り沙汰され、鮮烈なイメージが独り歩きするが、本人と面会した由紀は違った印象を受ける。なぜ彼女は父親を刺したのか？不安定な環奈の証言に翻弄されながら、事件の真相を探る。

ファーストラヴ
島本理生



事件の真相究明と同時に、由紀自身の幼児体験や家族との関係・問題も明らかになっていく。心に傷を負いながら懸命に生きる人たちを描いた第159回直木賞受賞作。